

事務事業評価

平成 24 年度

担当グループ 農林水産グループ

基本事項	事務事業名	島原地区人参選果場整備事業				整理番号	1403	
	根拠法令等	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要綱			実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる	予算科目	6 款 1 項 3 目	<input type="radio"/> 継続 <input checked="" type="radio"/> 新規			
		節 第1節 農林業の振興	事業区分	助成・育成				
事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	本市の主要農産物である人参については、計画的な出荷を図るため洗浄選別施設を整備し、作付面積及び収量の向上に努めてきたが、既存施設の処理能力を大幅に超えている状況にある。 また、基盤整備の完成や人参収穫機等の導入により省力化が進み、人参の作付面積及び出荷量の増加が見込まれる。				計画期間	始期	平成 23 年から
						終期	平成 24 年まで	
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	人参の長期安定出荷体制を確立し、販売量の増加と適期収穫による品質向上により競争力の強化を図り、担い手の農業経営の安定と地域農業の活性化を促すため、事業を実施する。						
	目的達成のための手段・方法	処理能力の大きな人参洗浄選別施設を整備する。						
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	23 年度	24 年度	25 年度	
		①人参の販売量の増加 人参の販売量を現在の5,565tから平成25年度には7,000tに増加させる。	目標	t				7,000
		実績	t					
		達成率	%					
	②	目標						
		実績						
		達成率	%					
活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	①人参選果場の整備(建物)	目標	棟	1				
		実績	棟	1				
	②人参選果場の整備(人参洗浄選別機、冷蔵庫)	目標	式		1			
		実績	式					
事業費等の推移	年度		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)					50,605	341,868	
	財源内訳	国 県 支 出 金				50,605	319,812	
		地 方 債						
		そ の 他						
	一般財源		0	0	0	0	22,056	0
	②従事職員給与費 b1×b2		0	0	0	868	873	0
従事職員数(人) b1		0.00	0.00	0.00	0.12	0.12	0.12	
職員平均人件費 b2		7,153	7,162	7,168	7,236	7,277		
事業費合計 ① + ②		0	0	0	51,473	342,741	0	

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった 既存施設の処理能力を大きく超えており、人参の販売量も年々増加している。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 国庫補助事業であり不可。	A
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込む必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 事業採択時に費用対効果の審査が行われている。	A
有効性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 今年度に施設が完成するが目標は達成する見込みである。	A
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 生産者への意向調査を実施し、事業の周知を図った。	A
効率性	⑥活動量や成果を下げずにコストを削減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 費用対効果を算出し、事業を実施している。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 類似する事業が無い。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 各機関で必要な事務を行っている。	A
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 生産者への意向調査を実施し、これに基づき利用計画が策定され運営収支についても検討されている。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要			A
			判定評点平均 A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算 3.00

◎総合評価

評価結果	● A 継続実施(特段の見直しは行わない)	判断理由 本市の主要農産物である人参の競争力の強化により、農業経営の安定と地域農業の活性化を図るため継続して実施する必要がある。 また、平成23年度からの繰越事業であり、平成24年度に施設が完成することになっている。
	B 改善・見直しを行う	
	○ B1 事業規模の拡充	
	○ B2 事業規模の縮小	
	○ B3 事業内容の改善・見直し	
	○ B4 その他の見直し	
○ C 休止(隔年実施などへの変更)		
○ D 廃止(終期の設定等を含む)		
(実施上の課題等)		
今後の課題及び改善策、見直しの状況		
<small>総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。</small>		

【2次評価】

総合判定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備考	平成24年度で事業完了となる。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費削減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減 (千円)
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの削減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	